



# かもめ組だより 1月号

令和8年1月28日

天沼保育園

かもめ組



冬の寒さの中でも元気いっぱいに過ごしている子どもたち。2026年最初の登園日にはお休み中だったことや食べた物、買ってもらった物など色々なお話をしてくれました。沢山の経験をして沢山の人に出会い、また一つ自信がついて大きくなったように見えたかもめ組のみんなでした。

さて、先日お楽しみ会でサンタさんからもらったプレゼントで夢中で遊んでいるみんな。今回は何をもらったか、そのプレゼントを紹介したいと思います。

## パズル

40ピースを保育者や友達の助けを借りずにできるようになってきました。なので枠なしの60ピース、100ピースに挑戦してみるのはいかがでしょうかと思い用意しました。

少し難しく苦戦している姿も見られましたが保育者や友達と協力していくうちに慣れているようで今では1人でも積極的に進めている姿が見られます。



## すごろく

文字や数字に興味をもってきた子どもたち。遊びながら数への興味をもてるようになっていくといいなと思っています。

絵本の題材のすごろくのため親しみながら参加しています。細かいルールはまだ難しいので保育者と一緒に確認しながら遊んでいます。



## 自然観察セット

散歩先で「この虫さん背中の模様面白いよ」「木にあるぶつぶつ何かな?」と興味をもっていたので虫眼鏡で観察を楽しんでいるみんな。さらに遠くの鳥を見たり虫の観察を楽しんだりできるのでは?と思っています。

望遠鏡と拡大鏡のセットで、公園の木の実や葉っぱを拡大鏡に入れて観察しています。もう少し暖かくなってきたら虫の観察も楽しみです。



## カードゲーム

園庭遊び、室内遊び、ホール遊びでも決まりあるゲームやイメージを共有した世界での遊びを楽しむ姿が多いかもめ組。3歳頃は勝敗がはっきりつくものよりもみんなで協力していくゲームをたくさん経験し、順番を理解したりルールがあることに慣れたりします。そしてその先に勝敗のあるゲームを楽しんでいけるようになっていきます。

みんなで協力したり教え合ったりできるゲームをしてほしいなと思い今回はこの3つを用意しました。

- ・へんがおならべ→カードをめくり面白い顔を作っていくゲームです。子どもたち同士で相談しながらかわいい顔や悲しい顔等お題を変える場面もあります。
- ・mysterax→カードの山札の中から1枚をめくりその絵柄を見て仲間外れを探すゲームです。
- ・いきものみつけかるた→お題の書かれた山札の中から1枚をめくり同じ生き物の絵が描かれたカードを早く見つけた人の勝ちとなるゲームです。



一つ一つの玩具を用意するにも今の子どもたちの様子や発達を考えるとともに、保育者の願いや思いが込められています。思った遊び方にならないこともあります。そんな時も

一緒に楽しんで過ごしたり関わったりしています。残り二カ月という短い時間ではありますが最後まで楽しくそしてのびのびと様々な体験をできるように関わっていきたいと思っています。